

3-1 保育実践上、運営上の課題

園の課題として、園種を問わず、「保育者の資質の維持、向上」が上位に。

園の保育実践上、運営上の課題をたずねたところ、約5割の園が、「保育者の資質の維持、向上」を課題として「とてもあてはまる」と回答した（表3-1-1）。20項目のうち、いずれの園種においても、上位3項目までに入っている。また、「保育者の定着・確保」「保育者の処遇改善」「保育内容・方法の充実」も、園種を問わず3割以上が選択（「とてもあてはまる」）しており、園全体の課題であることがうかがえる（表3-1-2）。

Q 貴園の保育実践上、運営上の課題についておたずねします。

表 3-1-1 園の保育実践上、運営上の課題（園の区分別に上位5項目）

(%)

		1位	2位	3位	4位	5位
幼稚園	国公立	保育者の資質の維持、向上 52.0	新たな園児の獲得 *3位と同率 47.2	保育内容・方法の充実 *2位と同率 47.2	障がいのある子ども・特別に支援を要する子どもの対応 46.9	適正な規模の園児数の維持 42.9
	私立	保育者の処遇改善 49.4	保育者の定着・確保 46.5	保育者の資質の維持、向上 46.3	新たな園児の獲得 45.3	予算（補助金、保育料など）の確保 43.4
保育所	公営	保育者の資質の維持、向上 52.3	保育者の定着・確保 47.0	施設・設備の充実 44.3	保育者の処遇改善 43.1	管理職の指導力の向上 40.0
	私営	保育者の資質の維持、向上 48.9	保育者の定着・確保 47.2	保育者の処遇改善 45.0	管理職の指導力の向上 41.7	保育内容・方法の充実 37.1
認定こども園	公営	保育者の定着・確保 52.0	保育者の資質の維持、向上 50.7	保育者の処遇改善 45.9	保育内容・方法の充実 35.8	施設・設備の充実 31.1
	私営	保育者の資質の維持、向上 52.8	保育者の定着・確保 51.3	保育者の処遇改善 43.9	管理職の指導力の向上 39.5	保育内容・方法の充実 38.4

※「とてもあてはまる」の% ※同じ項目は同じ色にしている ※20項目のうち、園の区分ごとに上位5項目のみ表示

表 3-1-2 園の保育実践上、運営上の課題

(%)

	幼稚園		保育所		認定こども園	
	国公立	私立	公営	私営	公営	私営
保育者の資質の維持、向上	52.0	46.3	52.3	48.9	50.7	52.8
新たな園児の獲得	47.2	45.3	4.8	17.4	7.4	26.4
保育内容・方法の充実	47.2	35.8	39.3	37.1	35.8	38.4
障がいのある子ども・特別に支援を要する子どもの対応	46.9	33.7	38.5	28.6	29.1	31.4
適正な規模の園児数の維持	42.9	42.2	13.2	20.5	15.5	27.6
保育者の定着・確保	39.8	46.5	47.0	47.2	52.0	51.3
施設・設備の充実	39.8	33.2	44.3	27.9	31.1	27.4
幼児教育・保育の重要性の周知	39.6	31.8	24.6	23.8	20.9	27.2
管理職の指導力の向上	39.1	36.3	40.0	41.7	27.7	39.5
保育者の処遇改善	38.4	49.4	43.1	45.0	45.9	43.9
小学校との連携	35.8	16.0	19.4	17.8	26.4	24.9
予算（補助金、保育料等）の確保	35.3	43.4	25.1	30.5	24.3	33.4
安全、防犯の取り組み	33.0	24.7	32.9	21.3	27.7	24.1
保育者の研修・育成機会の保障	29.4	26.9	31.0	31.1	27.7	31.9
保護者との協力、連携、支援	25.2	22.5	26.1	21.5	22.3	23.6
預かり保育/延長保育の内容（食事、環境、職員数など）	24.4	23.0	11.9	11.3	14.9	16.9
地域の諸機関との連携、協力	18.3	9.1	15.4	13.9	14.2	17.4
地域の人材の活用	16.0	7.3	10.7	11.7	10.8	14.6
子育て支援活動の充実	15.2	13.0	10.8	11.8	11.5	17.4
自己評価、自己点検の実施	13.0	15.8	13.1	17.1	6.8	19.1

※「とてもあてはまる」の% ※国公立幼稚園の降順で表示

※赤数字は50%台、緑数字は40%台、青数字は30%台の項目

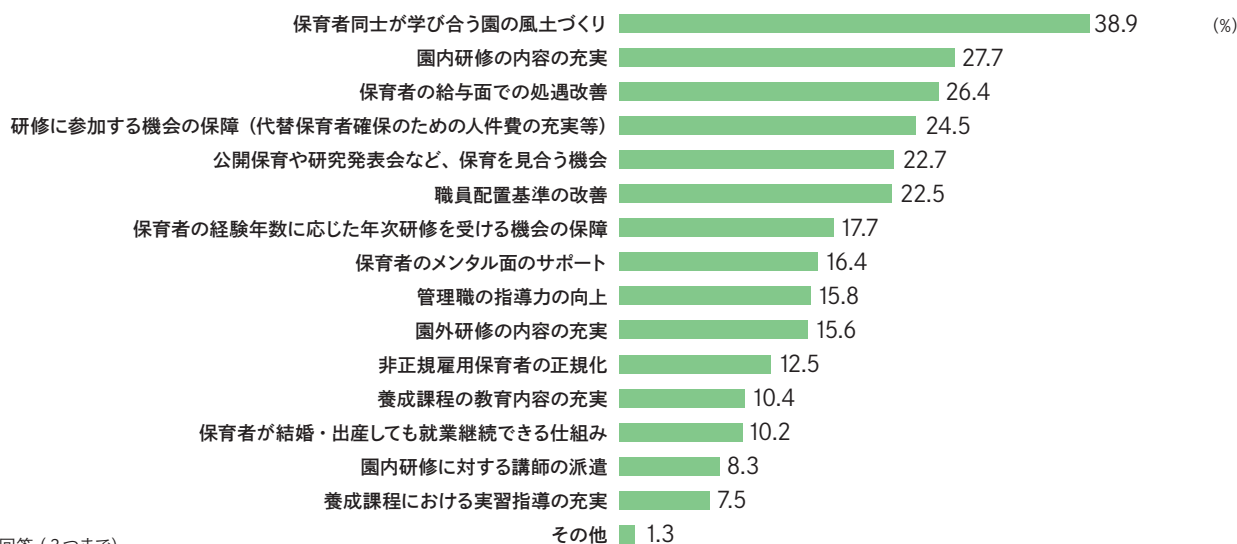
3-2 保育者の資質向上のために必要なこと

保育者の資質の向上のために必要なこととして、約4割が「保育者同士が学び合う園の風土づくり」を選択。

保育者の資質の向上のために必要なこととして、16項目から3つまで選んでもらった。上位3項目は、「保育者同士が学び合う園の風土づくり」(38.9%)、「園内研修の内容の充実」(27.7%)、「保育者の給与面での処遇改善」(26.4%)であった(図3-2-1)。国立幼稚園では「公開保育や研究発表会など、保育を見合う機会」が42.6%で1位、公営保育所では「職員配置基準の改善」が33.6%で1位だった(表3-2-1)。また私立・私営の園では、「保育者の給与面での処遇改善」の選択率が公立・公営の園よりも高い傾向がみられた。

Q 貴園の保育者の資質が向上するために特に必要だと思うことについて、3つまで選んで番号に○をつけてください。

図3-2-1 保育者の資質の向上のために必要なこと(園全体)



※複数回答(3つまで)

表3-2-1 保育者の資質の向上のために必要なこと(園の区分別に上位5項目)

		1位	2位	3位	4位	5位
幼稚園	国立	公開保育や研究発表会など、保育を見合う機会 42.6	園内研修の内容の充実 38.6	保育者同士が学び合う園の風土づくり 30.7	研修に参加する機会の保障 24.3	保育者の経験年数に応じた年次研修を受ける機会の保障 22.8
	私立	保育者同士が学び合う園の風土づくり 39.0	保育者の給与面での処遇改善 36.5	園内研修の内容の充実 27.8	公開保育や研究発表会など、保育を見合う機会 20.4	研修に参加する機会の保障 20.4
保育所	公営	職員配置基準の改善 33.6	保育者同士が学び合う園の風土づくり 32.9	非正規雇用保育者の正規化 30.7	園内研修の内容の充実 27.3	研修に参加する機会の保障 25.6
	私営	保育者同士が学び合う園の風土づくり 42.5	保育者の給与面での処遇改善 32.3	研修に参加する機会の保障 25.3	職員配置基準の改善 25.3	園内研修の内容の充実 23.5
こども園 認定	公営	保育者同士が学び合う園の風土づくり 39.2	公開保育や研究発表会など、保育を見合う機会 31.1	園内研修の内容の充実 28.4	職員配置基準の改善 27.0	研修に参加する機会の保障 26.4
	私営	保育者同士が学び合う園の風土づくり 47.0	園内研修の内容の充実 27.2	研修に参加する機会の保障 26.9	保育者の給与面での処遇改善 24.4	公開保育や研究発表会など、保育を見合う機会 20.8

※複数回答(3つまで) ※同じ項目は同じ色にしている ※「その他」を含めた16項目のうち、園の区分ごとに上位5項目のみ表示

3-3 保育者にとって必要な研修

保育者に必要な研修として、園種を問わず、約7～8割が「特別な支援を必要とする子どもの理解や保育」を選択。

保育者にとって特に必要だと思う研修内容をたずねたところ、「特別な支援を必要とする子どもの理解や保育」を選択する比率が、園種を問わず約7～8割であり、第1位であった（表3-3-1）。他に「子どもの成長・発達についての理解」「実技演習」「乳児／幼児の保育の内容、方法」など、幼児理解や保育の実践に関する研修が上位を占めた。園種にかかわらず、公立・公営園のほうが私立・私営園よりも5ポイント以上高いのが「特別な支援を必要とする子どもの理解や保育」と「実技演習」であり、私立・私営園のほうが5ポイント以上高いのが「子どもの病気と対応」であった（表3-3-2）。

Q 貴園の保育者が受講する研修として、特に必要だと思う内容についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

表 3-3-1 保育者にとって特に必要だと思う研修の内容（園の区分別に上位5項目） (%)

		1位	2位	3位	4位	5位
幼稚園	国公立	特別な支援を必要とする子どもの理解や保育 89.4	小学校との連携、接続 74.4	子どもの成長・発達についての理解 69.1	実技演習（運動遊び、表現活動、自然体験等） 66.0	保護者とのコミュニケーションスキル 56.6
	私立	特別な支援を必要とする子どもの理解や保育 81.5	子どもの成長・発達についての理解 68.2	実技演習（運動遊び、表現活動、自然体験等） 58.1	保護者とのコミュニケーションスキル 52.3	幼児（3～5歳児）の保育の内容、方法 50.1
保育所	公営	特別な支援を必要とする子どもの理解や保育 86.4	乳児（0～2歳児）の保育の内容、方法 71.1	子どもの成長・発達についての理解 71.0	幼児（3～5歳児）の保育の内容、方法 68.5	実技演習（運動遊び、表現活動、自然体験等） 63.3
	私営	特別な支援を必要とする子どもの理解や保育 78.8	乳児（0～2歳児）の保育の内容、方法 76.7	子どもの成長・発達についての理解 74.7	幼児（3～5歳児）の保育の内容、方法 74.3	保護者とのコミュニケーションスキル 63.9
認定こども園	公営	特別な支援を必要とする子どもの理解や保育 89.9	子どもの成長・発達についての理解 77.0	幼児（3～5歳児）の保育の内容、方法 75.0	乳児（0～2歳児）の保育の内容、方法 70.9	小学校との連携、接続 68.2
	私営	特別な支援を必要とする子どもの理解や保育 80.9	乳児（0～2歳児）の保育の内容、方法 73.9	幼児（3～5歳児）の保育の内容、方法 71.3	子どもの成長・発達についての理解 70.8	保護者とのコミュニケーションスキル 61.8

※複数回答 ※同じ項目は同じ色にしている ※「その他」を含めた21項目のうち、区分ごとに上位5項目のみ表示

表 3-3-2 保育者にとって特に必要だと思う研修の内容 (%)

		幼稚園		保育所		認定こども園	
		国公立	私立	公営	私営	公営	私営
園運営に関すること	小学校との連携、接続	74.4	>> 44.3	47.9	45.2	68.2	>> 54.2
	災害時の対応方法	48.8	44.7	56.4	54.3	54.1	51.0
	幼児教育・保育行政や国の施策	45.2	>> 22.3	24.4	29.3	37.8	> 28.4
	幼稚園、保育所の連携や一体化	27.7	>> 13.1	18.7	14.9	25.0	> 17.6
	デジタルメディアを活用するスキル	11.4	9.7	6.1	10.8	10.1	10.5
幼児理解や保育実践に関すること	特別な支援を必要とする子どもの理解や保育	89.4	> 81.5	86.4	> 78.8	89.9	> 80.9
	子どもの成長・発達についての理解	69.1	68.2	71.0	74.7	77.0	> 70.8
	実技演習（運動遊び、表現活動、自然体験等）	66.0	> 58.1	63.3	> 57.3	61.5	> 54.3
	幼児（3～5歳児）の保育の内容、方法	55.0	50.1	68.5	< 74.3	75.0	71.3
	指導計画の作成	49.5	>> 37.3	49.4	49.8	60.8	>> 47.7
	保育記録、ドキュメンテーション	48.3	>> 28.8	36.2	34.8	48.6	44.9
	指導要録・保育要録・こども要録の記載	41.3	39.2	53.7	50.4	55.4	56.0
	子どもの人権	33.2	>> 12.7	33.8	36.8	31.1	30.2
	子どもの病気と対応	24.6	< 34.3	43.1	< 49.6	41.2	< 46.8
	自己評価	23.4	18.8	28.6	< 35.1	29.1	31.9
保護者や地域に関すること	乳児（0～2歳児）の保育の内容、方法	6.1	< 11.3	71.1	< 76.7	70.9	73.9
	保護者とのコミュニケーションスキル	56.6	52.3	62.4	63.9	58.8	61.8
	保護者への子育て支援	39.1	> 32.1	53.6	53.1	50.7	50.3
	保護者の心理的な問題への対応	33.8	36.6	36.5	< 41.6	38.5	38.4
	地域との連携や地域資源の活用	23.9	>> 11.0	17.4	< 22.4	27.7	25.2

※複数回答 ※各カテゴリーで国公立幼稚園の降順で表示 ※赤字は50%以上、緑数字は40%台、青数字は30%台の項目 ※>><<は10ポイント以上の差。><は、5ポイント以上（10ポイント未満）の差

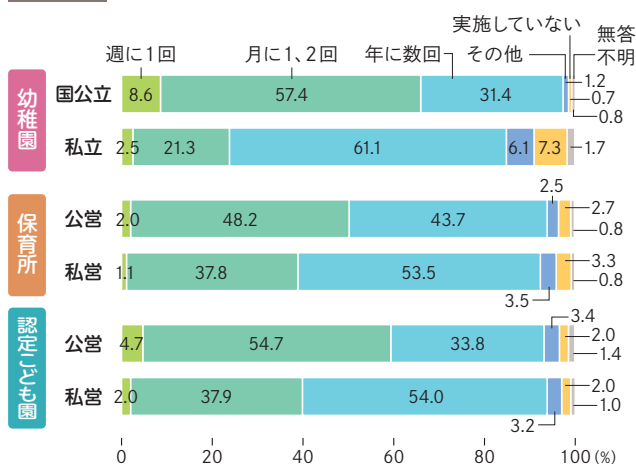
3-4 園内外の研修頻度、オンラインでの研修の意向

園内研修の実施頻度は、園種により異なる。オンラインでの研修は「内容・プログラムによっては導入したい」が半数以上。

園内研修を「週に1回」または「月に1、2回」実施しているのは、国公立幼稚園66.0%、公営保育所50.2%、公営認定こども園59.4%であり、私立・私営園より頻度が高めの傾向がみられた（図3-4-1）。一方で、どの園種でも「実施していない」園は1割に満たず、「年に数回」以上は実施している園がほとんどである。園外研修と幼保小の合同研修への受講・参加頻度は、園種を問わず「年に数回」が最も多い（図3-4-2～3）。オンラインでの研修の意向は「内容・プログラムによっては導入したい」という回答が5～6割台であり、半数以上が前向きであることがうかがえる（図3-4-4）。

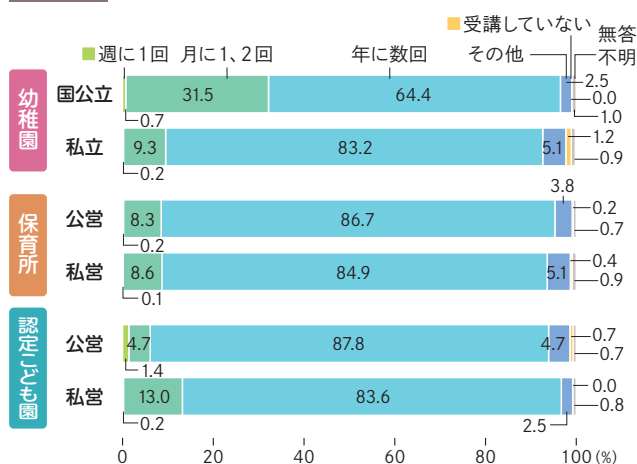
Q 園内研修（自園で主催する研修）を1年に実施する頻度について、もっとも近い番号1つに○をつけてください。

図3-4-1 園内研修の実施頻度



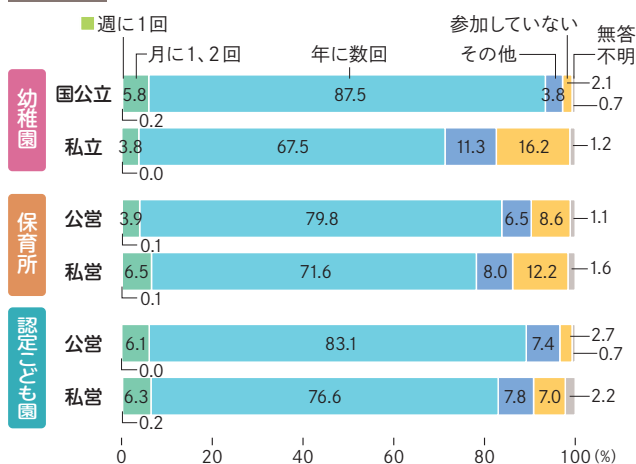
Q 1人の保育者が1年に受講する園外研修の頻度について、もっとも近い番号1つに○をつけてください。

図3-4-2 園外研修の受講頻度



Q 昨年度、貴園の保育者は、行政や他園、関連諸団体が主催する幼保小合同研修にどれくらいの頻度で参加しましたか。

図3-4-3 幼保小合同研修への参加頻度



Q インターネットを通じたオンラインでの研修がありましたら、導入したいと思いますか。

図3-4-4 オンラインでの研修の意向

